年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　　家庭科　　科目　家庭総合

教　科：　家庭科　　科　目：　家庭総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　E　組

教科担当者：（A組：　　）　（C組：　　）　（D組：　　）　（E組：　　）　（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 家庭総合　自立・共生・創造　　東京書籍　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生活を主体的に営むための科学的な理解とそれにかかわる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から課題を見つけ出し、解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の構築に向けて取り組もうとする実践的な態度を養う。

科目　家庭総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解を図る。それらに係る技能を身に付ける。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1学期	単元　子どもと共に育つ ・性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもとの触れ合いや，親や保育者と子どもの関わり方の観察など，さまざまな体験をする。 ・現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践しようとする。	指導事項 命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境 教材 教科書 プリント教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 親の役割と保育について理解している。 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 子供の遊びと文化について理解している。 子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。 子育て支援について理解している。 子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解している。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達を支えるために，主体的に考え、課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 子供との関わりと保育・福祉について，課題の解決に主体的に取り組み、実践しようとしている。	○	○	○	16
	単元　被服をつくる ・これまで学習してきた被服の機能，素材と管理の知識を応用しながら，目的に合った被服を製作するために，被服が身体の形に合わせてどのように構成されているかを理解する。	指導事項 被服製作実習 （キッチンエプロン） 教材 教科書 プリント教材　被服製作教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 被服構成について科学的に理解している。 被服製作について科学的に理解している。 衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分なりにデザインを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服製作に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2学期	単元　食生活をつくる ・食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活に関する知識を身につける。 ・各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し，「健康によい，栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につける。 ・日本の食文化の特徴や世界の食文化に関心を持ち，私たちの食生活への影響について理解する。	指導事項 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 食品の選択と安全 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎（調理実習） 食生活の文化と知恵 これからの食生活 教材 教科書 プリント教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 食と人との関わりについて理解している。 健康や環境に配慮した食生活について理解している。 栄養の特徴や食品の栄養的特質について理解している。 食品の調理上の性質について科学的に理解している。 食品衛生について科学的に理解している。 目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 健康な食生活を主体的に営むことができるよう課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康的な食生活について、課題の解決に主体的に取り組み、実践しようとしている。	○	○	○	20
	単元　被服をつくる ・これまで学習してきた被服の機能，素材と管理の知識を応用しながら，目的に合った被服を製作するために，被服が身体の形に合わせてどのように構成されているかを理解する。	指導事項 被服製作実習 教材 教科書 プリント教材　被服製作教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 被服構成について科学的に理解している。 被服製作について科学的に理解している。 衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分なりにデザインを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服製作に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	単元　住生活をつくる ・生涯を見通した住生活について考え住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・住生活に関する環境性能について理解を深め，快適かつ健康，安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。	指導事項 住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 教材 教科書 プリント教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 住まいと人との関わりについて理解している。 住居の機能について科学的に理解している。 持続可能な住居の計画について理解している。 快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できる。 【思考・判断・表現】 主体的に住生活を営むことができるよう課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自立した住生活について，課題の解決に主体的に取り組み実践しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3学期	単元　超高齢社会を共に生きる ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解する。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる支援や関わり方を考える。 ・これからの超高齢社会の課題を理解する。	指導事項 高齢期の心身の特徴 高齢者の自立を支える これからの超高齢社会 教材 教科書 プリント教材 一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。 高齢期の心身の特徴について理解している。 高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解している。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために，主体的に考え、課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者との関わりと福祉について，課題の解決に主体的に取り組み、実践しようとしている。		○	○	12
							合計 70